

GMS

Global
Management
Supporting
Partners

特定非営利活動法人

チャレンジ企業支援隊 会報

Vol.18 2014年1月22日

発行:理事長 山崎健一郎

TEL&FAX 0742-41-7839

編集(広報担当):副理事長 馬場英彦

TEL 0743-75-1658 E-mail bamba@m4.kcn.ne.jp

巻頭言

(理事長 山崎健一郎)



明けましておめでとうございます。昨年中に皆様方から賜りましたご支援とご協力に対し厚く御礼申し上げます。企業トップの年頭所感ではアベノミクスの

第3の矢(成長戦略)に景気回復への期待も多々ありましたが、課題も山積しており楽観は出来ません。

チャレンジ企業支援隊(GMS)は、今年1月で設立満10年と言う大きな節目を迎えました。この間ご支援頂いた多くの方に、厚く御礼申し上げます。

今年は、これまでの10年を振り返り、新たな第一歩を踏み出す年にしたいと思っています。その為に大切な事は、原点に戻り設立時にメンバーが共有した熱き思いである「チャレンジ企業支援隊 運営理念」を会員一人ひとりが再確認する事です。

チャレンジ企業支援隊 運営理念

社会貢献を基本精神とし、人的なネットワークと連携を大切にしながら、会員の経験・知識・専門技術を活かし、中小企業やベンチャー企業などの支援を通じて、経済社会の活性化と地域社会の健全な発展に寄与する事を目指す。

GMSの強みは、GMSをプラットフォームとして会員の一人ひとりが自主的で且つ積極的に事業に参画して頂いている事です。現在、3つの部会(モノづくり部会、マーケティング部会、人材育成部会)があります。各部会では、毎月例会を開催し、活発な意見・情報交換をしています。年頭にあたり各部長に抱負を述べて頂きました。

GMSの大きな財産は、これまでご支援いただいた方々とのネットワークです。このネットワークを大切にし、「運営理念」の実践により日本の元気回復のため、お役に立てるよう尽力して参ります。引続きのご支援とご鞭撻をお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

創立10周年を迎えて

(特別顧問 成田欽史郎)



皆様に於かれましては、ご家族ともども輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。チャレンジ企業支援隊は平成15年に奈良県から認証を頂き本格的な活動

に入ってから、今年1月でちょうど10年の節目を迎えました。山崎理事長を始め理事各位、会員の皆様の献身的なご努力により、今日では皆様の活動が奈良県のみならず広く全国的にも認知されるまでになり、ご同慶の至りです。

このように私共の活動の輪を広げ、数々の成果を上げることが出来たのは、私共の活動を陰に陽に支えていただいている奈良県の関係各位、又近畿経済産業局やNBK各位、そして地域の大学・研究機関や支援機関、そして数多くの中小企業の皆様の力強い、心温まるご支援ご協力の賜物であり、この機会に心より御礼を申し上げたいと思います。

さてこの節目にあたり、GMSの生い立ちを振り返ってみますと、平成13年の年末、同期入社の宮尾登喜雄氏と会食した折、当時小生が奈良県の総合相談ブレンとして奈良県下の中小企業を巡回する中で見聞きした中小企業の苦闘のことが話題となり、我々企業OBが現役時代を通して蓄積してきた知見や技術、技能を活かして何らかのお役に立てないものかと動き出したのがGMS設立のきっかけでした。当時世間では失われた10年、それでも立ち上がれない日本、と云ったことが話題となっていました。大企業がグローバル化の波を受けて海外移転を加速させ、産業の空洞化が叫ばれる中、遅れを取った大企業の事業構造の転換と、日本経済を支えてきた中小企業の復活が無ければ日本経済の本格的な回復は難しいのではないか、と云うのが二人の共通認識でした。二人が中心となり、企業OBに呼びかけ、設立趣旨への賛同者を得、学校法人エール学園(長谷川

恵一理事長)のご支援で活動の拠点をご提供いただき、2年余りの検討期間を経てGMSの設立に到りました。

長谷川理事長、そして創業まもなくGMSの活動に注目し、取材を通して激励を頂き、「日本一明るい経済新聞」に大きく取り上げて頂いた、産業情報化新聞社代表取締役の竹原信夫氏に、改めて心より感謝申し上げる次第です。

創業以来ご支援を頂いた皆様のご厚意にお応えする為にも、GMSの運営理念の下、皆さんが志を一つにし、次の10年に向けて力強く歩みを進められるよう期待しています。

創立10周年おめでとうございます

関西産業活性協議会 代表理事 大槻 眞一



GMS創立10周年おめでとうございます。この10年、中小企業を取り巻く経営環境は、目まぐるしく変化しました。経済のグローバル化が一段と進む中で、地域経済を支える中小企業にも、世界経済が直接大きな影響を与えています。

GMSは、こうした苦闘の10年間、中小企業・ベンチャー企業のものづくりやマーケティングの支援や、HRM(ヒューマンリソースマネジメント)や経営実践塾によって、人材育成と経営戦略などを支援され、実に多彩な活動を積極的に行ってこられました。

GMSが中小企業・ベンチャー企業の支援に邁進される姿は、KIACはもとより、全国の中小企業・ベンチャー支援の鏡であります。

KIACとしても、昨年、山崎理事長にリーダーをお願いしまして、GMSの皆さん方のご支援によりまして、羽衣国際大学などの地域貢献を支援して戴きました。ありがとうございました。

この活動は、例えば、外国の留学生がインターンシップによって、地域になじみ、卒業後中小企業に就職したり、あるいは、中小企業の経営者が大学と教育について率直な意見交換することで、少子化やグローバル化時代を生き抜く中小企業にとって、大きな支えとなることでしょう。私たちの希望の星であるGMSが、これからも一層発展され、大きくご活躍されることを心から期待しています。

モノづくり部会活動内容と抱負

(理事 モノづくり部会長 阪本 徳男)



モノづくり部会の活動は①毎月開催のモノづくり部会、②GMS経営勉強交流塾の開催、③新しい活動として次代を担う人材育成社長塾の準備、④中小企業様の事業開発支援

⑤関西産業活性協議会事業の支援の5つの活動が主な内容です。個々の活動の内容と抱負として

■毎月開催の部会では、部会行事打ち合わせ・各員の活動状況相互紹介・情報連絡に加え会員のGMS以外のNPO活動、イベント参加報告を行っています。今後内容の充実を図り、共有課題を論議して行きたいと思います。

■経営勉強交流塾の基本的な考え方は「企業一社では訪問が困難な企業を選定・準備を行い、企業の優れた点を工場見学で学び、質疑応答で自社の経営課題の解決の導く参考とする。」を目的としています。昨年は4月に門真市の企業様の工場見学、7月は企業様の課題である人材育成について、GMS会員の発表、事例発表として企業様より人材育成と事業承継について発表頂き、相互の意見交換を通じて課題解決の糸口を探って頂きました。今後は新しいヒューマンネットワークで新訪問企業の設定と新参加企業の勧誘にも力を入れていきたいと思います。

■経営実践塾は、次代を担う人材育成社長塾を一昨年新しい活動としてスタートさせ、約一年間12回京都の企業様で実施しました。その内容は経営戦略、PPM、コアコンピタンス、キャッシュフローなどの知識を習得して頂き、幹部候補生が自ら部門の課題認識をし、中期計画策定を行う支援をさせて頂きました。その中で自社のコア技術の重要性、数値目標の設定、海外進出の必要性などを今まで以上に認識して頂きました。社長塾で経験した事を基本に「経営実践塾」として、更なる飛躍を遂げていくために関連企業、団体を訪問しています。今後のアイデアとしては無料のお試しバージョンの導入で企業様の初期ご負担軽減に努める計画も考えております。

■中小企業様の事業開発支援については、大阪の企業様に「商品計画・商品企画の支援」を一年間の予定で実施し、非常に密な連携で企業様の根幹である経営課題の支援までも実施させて頂いております。

今後は更なる課題解決支援又、新たな企業様の事業開発支援も検討していきたいと思ひます。

■関西産業活性協議会と連携を取りながら、新しい事業創造の観点から事業を進めて行きたいと思ひます。皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

マーケティング部会の活動と抱負

(副理事長・マーケティング部会長：馬場 英彦)



昨年は、部会に出来るだけ多くのメンバーが参画し活動の輪を拡大する事を重点的に活動して参りました。官公庁、商工会議所、教育機関との連携を通じて広く情報を収集する活動に注力しました。その結果、具体的取り組み案件は年間を通じて約30社50案件に及び、具体的支援実績に結びつきました。特にデザイン・販売促進活動の中核に中小企業様のお手伝いを実践して参りました。中でも昨年度より取り組んだD社様やP社様とはGMSの10名以上のスタッフが参画し着実な成果を揚げつつあります。

平成26年度引き続き下記の4大項目を基本にしてマーケティング支援活動を続けて参ります。

(1) 契約支援企業様のニーズにお応えし、支援成果向上を目指します。定期契約企業の「D社様、P社様、パン工房のH施設様」などの支援成果向上のために、GMSのノウハウと知恵を結集して支援活動を行ないます。

(2) 新規支援先を開拓し、様々なご要望にお応えできるよう人材の育成強化を図ります。企業OBの豊かな専門的知識・経験を活かし、若い世代への継承を図ります。特にデザイン・IT技術・営業・マーケティング分野のエキスパート育成を目指します。

(3) 各種団体との連携強化を図り「産・官・学・福」での活動成果を挙げてまいります。

近畿経済産業局、奈良県庁、神戸商工会議所、大阪市立デザイン教育研究所、奈良県の授産施設による「産・官・学・福」共同連携により地域社会貢献を目指します。

(4) マーケティング部会をプラットフォームとして成果向上に努めます。定例会をプラットフォーム基地として、上記を基本に事業を推進します。

開催日時：毎月第1木曜日・午後6時～8時30分
会場：大阪市立デザイン教育研究所

内容：支援先を中心に都度テーマを設定し事例に基づきミーティングを実施。

人材育成部会の活動と抱負

(理事 人材育成部会長 岡田 佳久)



昨年の人材育成部会では、関西産業活性協議会(KIAC)が立ち上げた「大学改革支援プロジェクト」を中心に活動をしてきました。お陰様で、昨年の10月に羽衣国際大学、大阪府中小企業家同友会、KIACによる三者包括的連携に関する友好協定を締結いたしました。

今年は、この友好協定を具体的に推進していくことが中心になり、当部会でも昨年以上の行動力を発揮していく所存です。

具体的には、国内・海外インターンシップ、大学と地域社会、特に中小企業との繋がり構築、中小企業の経営者や若手社員の大学での講演などが挙げられます。これらの実現のためには、KIACは、羽衣国際大学と大阪府中小企業家同友会の橋渡し役も求められます。

また、少子化により各私立大学の経営は年々厳しさを増しており、就職状況も若干、改善はされたものの依然として厳しい状況にあります。さらに、文部科学省より、私立大学が地域社会の核となる存在になることが求められているため、他大学でも私たちの活動がお役に立つことができればと思っております。次に、私自身が、昨年、設立されたKIACの「海外サポートセンター」のメンバーになったことから、こちらでも推進していきます。

中小企業の海外進出と人材の育成については、一見、関係のないように思われるかもしれませんが、企業の発展には「人材」が欠かせません。各企業の「人材」の基盤がなければ、海外進出を成功させるのは難しいでしょう。

昨年7月に、産経新聞社主催、第19回「がんばれ！！ものづくり日本 関西情報サロン」にて、「中小企業が海外進出をする前に知っておきたいこと」のタイトルで講師をさせていただきました。講演後の質問では、人材に関する質問も多数ありました。

最後に、これらの活動が今年1年間で更に幅が広がるよう努力していきます。

GMS 10年の歩み

—2004年～2013年（平成16年～平成25年）—

「NPO法人チャレンジ企業支援隊」は、2003年12月に奈良県知事から認証取得し、2004年1月に設立総会を行い11名の会員でNPO活動を開始

2004年

- ◆奈良県中小企業支援Cの支援を受け、モノづくり現場の改善、資材業務の改革等のセミナーを開催
- ◆『頑張れ！奈良』講演会（6回）の企画支援

2005年

- ◆近畿経済産業局「販路マッチングナビゲート事業」支援活動開始（2009年終了）
- ◆大阪市立デザイン教育研究所との産学連携で中小企業のデザイン支援開始（現在も継続）
- ◆モノづくり勉強交流塾を開始（現GMS経営勉強交流塾）

2006年

- ◆GMSフォーラム開催（GMS新春講演・交流会として毎年開催）
- ◆追手門学院大学キャリアデザイン論受託（4年間）（KBI㈱と協働プロジェクト）

2007年

- ◆奈良県機械工業協同組合のセミナー講師、同組合機関誌に寄稿
- ◆第1回GMSセミナー開催
「内部統制 日本版SOX法のイ・ロ・ハ」

2008年

- ◆奈良県機械工業組合からの要請で「技術伝承マニュアル」作成
- ◆奈良県社会就労事業振興センターと協働で「障がい者働きがい支援事業」参画（3年間）

2009年

- ◆けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会事務局を受託（現在も継続）
- ◆関西産業活性協議会（KIAC）設立発起団体となる
- ◆定款の変更：定款第5条に新たな事業を追加
⑨公的機関及びNPO法人等の公益団体との連携・協働による支援、指導、助言の事業



・マーケティング部会の様子

2010年

- ◆GMS経営勉強交流塾5周年記念事業：中国視察
- ◆奈良県とNPOの協働事業受託「NPO法人設立支援セミナー」開催
- ◆SLE（けいはんな）マネジメントセミナー開催

2011年

- ◆GMS経営勉強交流塾見学先
ニッタ㈱、㈱山田製作所、日本伸縮管㈱
- ◆ホームページをリニューアル
- ◆奈良県新しい公共支援事業
受託「チャレンジ助っ人隊」派遣（2年間）
- ◆奈良県「1施設1品事業」
受託（2年間）
- ◆奈良県中小企業団体中央会
「モノづくり中小企業の支援事業調査」を受託

2012年

- ◆GMS経営勉強交流塾見学先
田中電工㈱、㈱タカトリ
- ◆人材育成社長塾開講（京都）
- ◆販売促進資料作成（大阪）

2013年

- ◆総合コンサルティング支援（大阪）
（マーケティング・商品開発・工程改善）
- ◆GMS経営勉強交流塾見学先：和田電器㈱



・チャレンジ助っ人隊
説明会案内



第26回経営勉強交流塾での懇親交流会

<受賞記録>

- ☆近畿経済産業局より産業支援型NPO法人団体賞を受賞（2009年）
- ☆第1回地域再生大賞奈良県代表として優秀賞を受賞（2011年）（地域活性化に取り組む団体の支援を目的に全国の地方紙と共同通信が創設した賞）

<部会等の開催状況>

- ・GMS経営勉強・交流塾（26回開催）
- ・モノづくり部会（83回開催）
- ・マーケティング部会（112回開催）